



見て、触れて、学べる Fukushima の環境再生

リパルンふくしま

特定廃棄物埋立情報館



見学プログラムのご案内



特定廃棄物埋立情報館
リパルンふくしま

わかりやすく
多彩な展示と
埋立処分見学。



見て

実験や
モニタリングなどの
体験教室を開催。



触れて

体験しながら
楽しく理解。



学べる



ふくしまの 環境再生

特定廃棄物の埋立処分事業※を
わかりやすく学べる
多彩な展示や体験・
参加型イベント等が盛りだくさん。



※特定廃棄物の埋立処分事業とは？

福島県内の既存の管理型処分場を活用して、放射性物質汚染対処特別措置法に基づき、国が責任をもって、放射性物質に汚染された廃棄物(10万Bq/kg以下の特定廃棄物)等の埋立処分を行う事業です。

はじめに

2011年3月11日。

東日本大震災により日本はかつてない甚大な被害に見舞われました。

東京電力福島第一原子力発電所の事故により大気中に放出された放射性物質を含む土壌や廃棄物が大量に発生したことも、その一つです。

震災後、県内各地に保管されていた除去土壌や特定廃棄物などを国が責任を持ち、
県や市町村と協力し、地域の方々の理解を得ながら
できるだけ早く、安全に、確実に処理を進める必要がありました。

福島環境再生と復興の歩みを、県内の人をはじめ、
日本中、世界中の人に知ってほしい。地元の方々に安心して暮らしてほしい。
その想いから「リプルンふくしま」は生まれました。

日本の未来を担う子どもたち、そして教員の皆さまをはじめ多くの方々に
リプルンふくしまにご来館いただき、
福島県内の放射性物質を含む廃棄物が
どんな技術を使いどのように処理されているのか、
安全管理のために行われている取り組みを、福島県の状況とともに
ぜひ理解していただきたい。

福島県が再び豊かな自然を取り戻すための
環境回復への歩みを知る手段として、
リプルンふくしまを皆さまの環境学習の場として
ご活用いただければ幸いです。

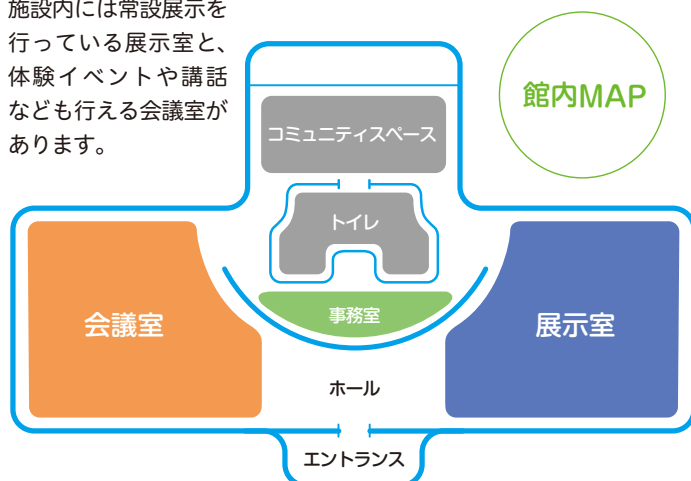
リプルンふくしまとは

リプルンふくしまは、放射性物質に汚染された廃棄物の埋立処分についてわかりやすく学べる体験型の情報館です。特定廃棄物の埋立処分事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況などについて「見て」「触れて」「学ぶ」ことができます。他にも参加型イベントなど、地元をはじめとした県内、県外の皆さまに広く来館いただくための様々な企画を実施しています。



リプルンふくしま

施設内には常設展示を行っている展示室と、体験イベントや講話など行える会議室があります。



モニタリングフィールド

実際に空間線量率測定、水質検査、土壌中放射能濃度簡易測定などのモニタリング体験ができる参加型イベントを行っています。



会議室利用について

リプルンふくしまは、地域に密着した施設として、地元の方々のコミュニケーションの場となることを目指しています。当施設の会議室は、地域の復興及び風評被害対策、教育支援、地域交流をテーマとした、集まりや会議、イベント等にご利用いただけます。

主な設備 会議机(16台)、椅子(48脚)、
電動スクリーン(120インチ)、プロジェクター、
音響設備(ワイヤレスマイク2本)
※PC、DVDからの入力対応。

利用料金 無料

利用時の注意事項 机、椅子のレイアウトを変更する場合は利用者がこれを行い、
使用後には原状復帰をお願いします。
利用時間については、時間厳守にてお願いします。
他の来館者の迷惑になるような大音響を伴う活動、事前許可の
無い場所の占有はできません。
飲食(アルコールは除く)はできますが、発生したゴミは全て
お持ち帰りください。



学校等団体見学時の
昼食場所にも
ご利用いただけます。

ご利用にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
ソーシャルディスタンスの確保などの3密の回避にご協力をお願い
しています。

リプルンふくしまで学べること

展示見学



展示を通して特定廃棄物埋立事業について学び、「ふくしまのいま」を知ることができます。

特定廃棄物 埋立処分施設の見学



実際の埋立処分施設の現場を見学することで、リプルンふくしまでの学びをより確かなものにします。

モニタリング体験 自然実験教室 技術体験教室



モニタリング体験・技術体験を通して放射線の基礎知識を学べます。

学びの例

- ふくしまの“環境再生”学習
- 環境教育
- 進路・キャリアを考える学び
- 体験的・主体的な学び
- 放射線の基礎知識
- 学校での学びに関連する気づき



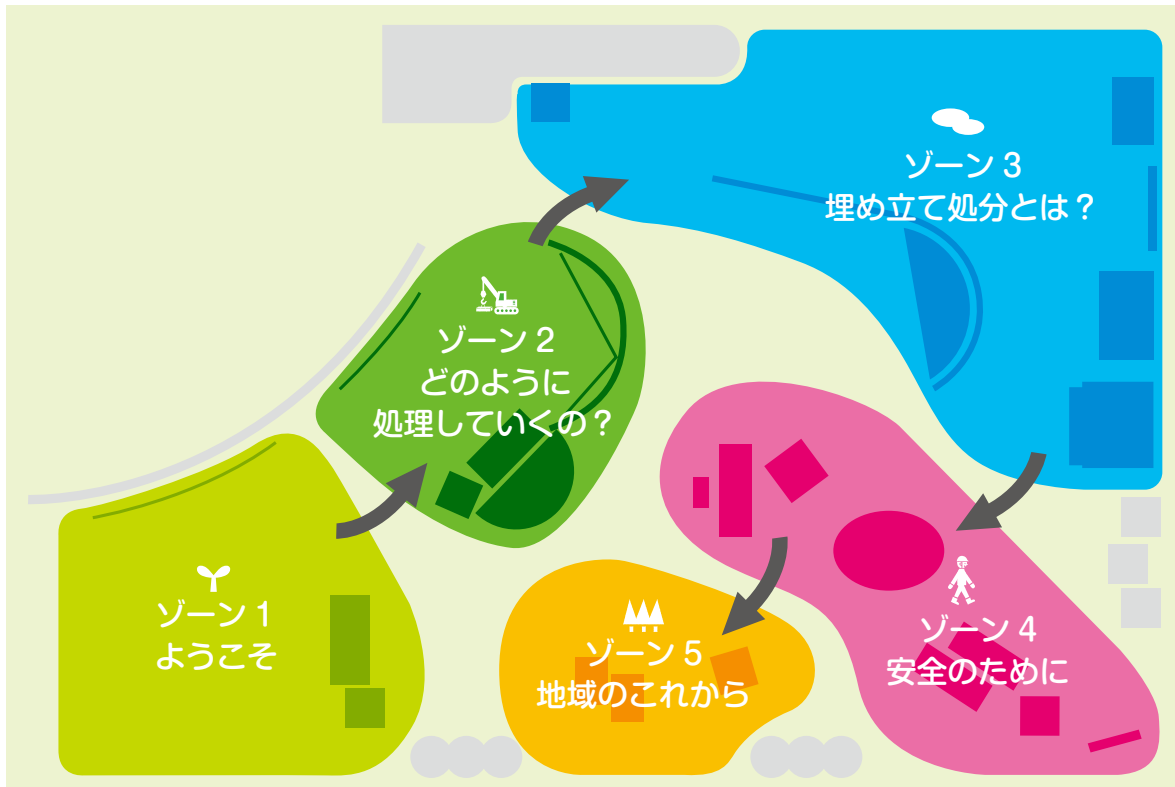
- ・ゴール3 (ターゲット 3.9,3.d)
モニタリング体験により、健康を害する危険因子の発見と管理について学ぶことができます。
- ・ゴール11 (ターゲット 11.6)
放射性物質の環境への影響を知り、住み続けられるまちづくりについて考えるきっかけを作ります。
- ・ゴール12 (ターゲット 12.4)
環境上適正な廃棄物の管理(放射性物質の大気、水、土壌への放出)について学ぶことができます。

施設内での展示見学



「見て」「触れて」「学べる」をコンセプトに事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況等をデジタルコンテンツを用いた常設展示により、体験しながら理解することができます。

展示をより分かりやすくお伝えするために、専門スタッフによる展示解説を実施しています。



ゾーン1 | ようこそ

原子力発電所の事故により大気中に放出された放射性物質を含む土壌や廃棄物などの処理や、安全・安心への取り組みについてご紹介します。



「福島の環境再生への取り組み」ダイジェスト映像

ゾーン2 | どのように処理していくの?

除去土壌や廃棄物などの発生経緯と処理の流れをご紹介します。



廃棄物とその処理について学べるプロジェクションウォール



埋め立て処分とは？

ゾーン3

運び出しから埋立てまでの埋立処分事業の流れと安全対策をご紹介します。



模型とデジタル技術を組み合わせた展示



安全のために

ゾーン4

安全確保への取り組みのご紹介や、放射線の基礎知識などを体験しながら学べます。



放射線の性質を楽しく学べるマルチタッチテーブル



地域のこれから

ゾーン5

近隣地域の復興に向けた取り組みをご紹介します。



新しい施設やイベントなどについてのパネルや映像展示



特定廃棄物埋立処分施設の見学



実際の埋立処分の現場を見学できます。より詳しく知りたい場合は、リプルンふくしまに戻って復習できます。

※特定廃棄物の埋立てが完了し、現在は双葉郡8町村の生活ごみの埋立てのみとなっています。廃棄物の量が少なくなったことから、実際の作業風景を見学できない場合があります。



モニタリング体験 モニタリングフィールドで実際に測ってみよう

空間線量率測定体験



リプルンふくしまに隣接するモニタリングフィールドで、空間線量率の測定を行います。測定後、単位や値の意味を解説します。

水質パックテスト体験



水質モニタリングエリアで採取した水の性質を「COD パックテスト」で調べます。処分施設からの処理水が流れ込む川の水と一般水系の川の水との比較に加え、水道水や石鹼水との比較も行います。

自然実験教室 モニタリングフィールドで森の秘密を発見しよう

所要時間
約30分

マイクروسコープで葉脈を観察しよう



モニタリングフィールド内のさまざまな植物の葉を採取し、マイクروسコープ（デジタル顕微鏡）で観察します。植物の種類ごとに異なる葉脈を観察し、スケッチを行います。

森の木を観察してみよう



福島県もりの案内人が同行し、モニタリングフィールド内の遊歩道から、森がどのような樹木で構成されているのかなどを観察します。

技術体験教室 埋立処分施設で使われている技術を模擬体験

埋立技術の模擬体験

所要時間
約30分



- 形が崩れない容器のひみつを探ろう！
廃棄物の収納容器の特徴を、ミニチュア模型を使用して体験します。
- 泥水をきれいにしてみよう！
凝集剤を使用して、泥水の凝集沈殿実験を行い、水処理の仕組みを学びます。
- 粘土で水をさえぎる実験をしてみよう！
ベントナイトという粘土を使用して、水を遮る働きを実験で確かめます。

放射線の基礎知識

所要時間
約30分



- 霧箱で放射線を観察してみよう！
自然放射線を観察できる霧箱を使用し、目には見えない放射線とその性質を学びます。
- 身の回りの放射線を測定してみよう！
放射線測定器を使用し、湯の花など、身の回りの物から出る放射線の測定を行います。

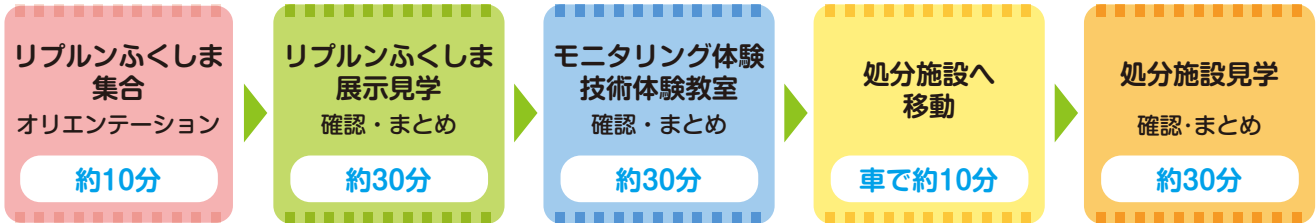
校外学習向けプログラムについて

ご希望に応じて、リプルんふくしまの展示見学に加え、埋立処分施設を見学することができます。また、モニタリング体験・技術体験教室も組み合わせられます。所要時間、内容ともに柔軟に調整いたしますのでお気軽にご相談ください。



プログラム(例)

展示見学と体験教室、処分施設見学の基本メニューを実施する場合です。
(所要時間/約120分)



お申込みの流れ

申込書の提出

申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお申込みください。

事前にご視察なども可能です。

確認の連絡

お申込み内容を確定し、事務局よりご連絡いたします。

内容の調整

対象学年、授業枠により、どのような内容にするか、調整いたします。

確定・実施

日時や内容が確定したら、実施に向け資料の準備を進めます。

※日程、人数等の都合により、ご希望に沿えない場合がございます。予めご了承ください。

お申込み先

特定廃棄物埋立情報館 リプルんふくしま TEL 0240-23-7781 FAX 0240-23-7782
E-mail(見学等予約専用): yoyaku_reprun@env.go.jp

来館者の感想

小学生

放射線について 体験しながら楽しく学べる

リプルんふくしまで、放射線はどのようなものなのか、そして放射線を出すものがくっついてしまった物の処分方法が分かりました。どこにどのくらいの放射線があるのか測ったり、水の検査などもやったのでとても楽しかったし、学びになりました。「体験しながら学べる」ことが良いなあ～と思いました。また今度家族で行きたいと思います。

中学生

もっと知りたくなる 特定廃棄物埋立処分施設

リプルんふくしまへ実際に行ってみて、事前学習で勉強したことよりもたくさんを知ることができました。特定廃棄物埋立処分施設では、細かい作業や施設の安全対策の工夫など、ただ埋めるだけでなくしっかり考えられていてすごいと思いました。今まで埋立処分施設についてあまり知りませんでした。今回の見学でもっと埋立処分施設について知りたいと思いました。

高校生

厳しい安全管理を 多くの人に知ってほしい

特定廃棄物埋立処分施設に実際に行くこともできて良い経験になりました。「名前は聞いたことはあるけど説明はできない…」というモヤモヤがいくつか解決しました。震災後に様々な放射線教育を受けてきましたが、まだ分かっていなかったことに衝撃を受けました。処分施設では思っていた以上に厳しく安全に配慮して作業をしていることを知り、多くの人にこのことを知ってもらい、安心に繋がれば良いなと思いました。

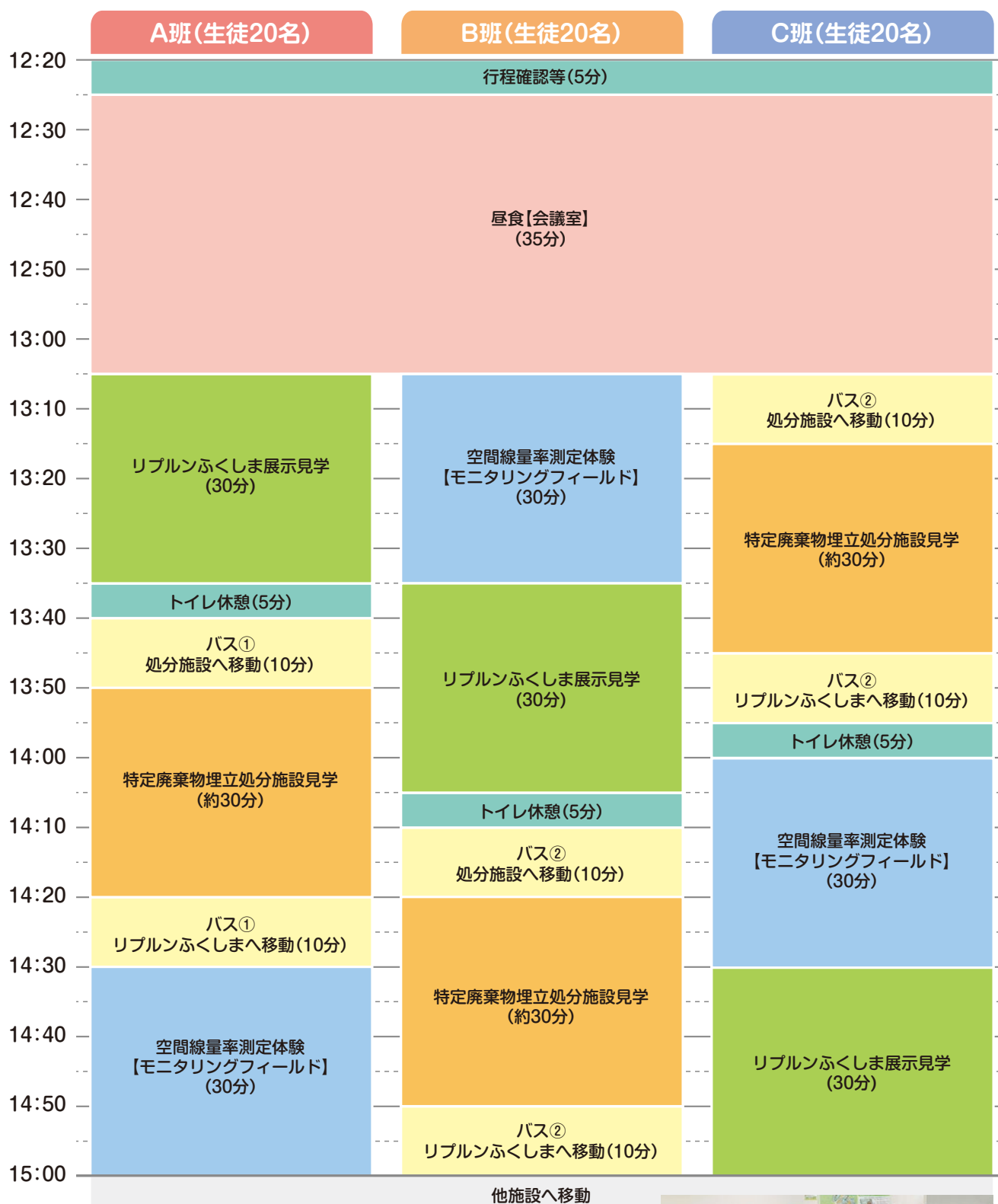
中学校
教諭

処分を継続して行っていく 大変さ、大切さが学べる

実際に測定や体験をしながら放射性物質や水環境について考えることができ、子どもたちにとっては学校では学ぶことのできない良い経験だったと思います。埋立処分施設の見学でも、目の前から放射線を出す物質がなくなったらそれで終わり、ということではなく、処分を継続して行っていく苦勞や大変さ、大切さが学べたように思います。生徒たちも興味を持って見学することができたようでした。

見学行程のご案内(参考)

見学行程案(2クラス生徒 60名 バス2台でご来館 昼食ありの場合)



処分施設見学について

- 小雨時は雨具の準備をお願いします。
- 荒天時はバーチャル見学となります。

バーチャル見学(荒天時)



● アクセス ACCESS



● お車でお越しの方

高速道路／国道 6 号線から

- 常磐自動車道 常磐富岡 IC から
国道 6 号線をいわき方面へ約 15 分 上郡山の T 字交差点付近です。
- 常磐自動車道 ならはスマート IC から
国道 6 号線を相馬方面へ約 10 分 上郡山の T 字交差点付近です。
- 常磐自動車道 広野 IC から
国道 6 号線を相馬方面へ約 15 分 上郡山の T 字交差点付近です。

● 公共交通機関でお越しの方

電車でお越しの方

- JR 常磐線「竜田駅」下車、タクシーで約 4.4km
- JR 常磐線「富岡駅」下車、タクシーで約 3.4km

● 駐車場：乗用車約 20 台、大型バス 2 台

お問い合わせ・見学お申込み窓口

リパルにふくしま

特定廃棄物埋立情報館

〒979-1131 福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田 526-7

TEL 0240-23-7781 (9:00~17:00) ※休館日除く

E-mail (お問い合わせ用) : info_reprun@env.go.jp

(見学等予約専用) : yoyaku_reprun@env.go.jp



●開館時間／9:00～17:00 ●入館料／無料 ●休館日／月曜日・年末年始 ※月曜日が祝日の場合は翌平日